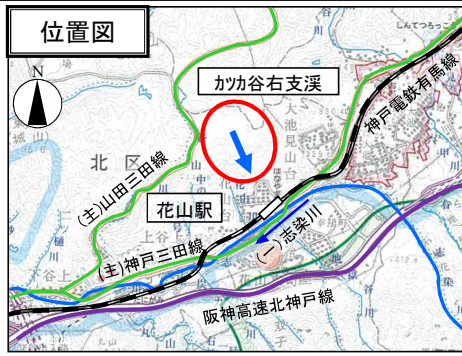
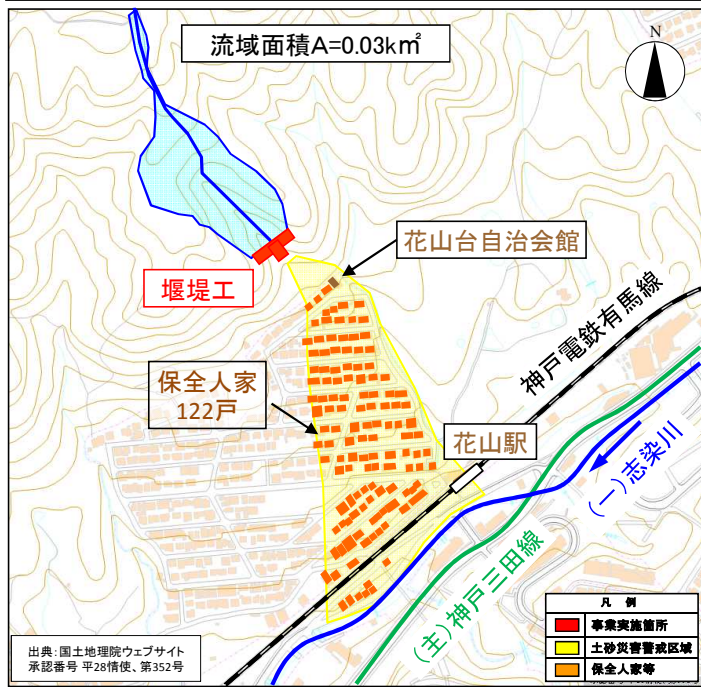


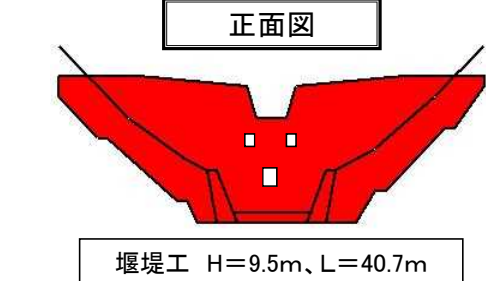
(一)加古川水系 カツカ谷右支溪 通常砂防事業 (継続:再評価[第1回])



事業箇所	神戸市北区山田町上谷上	
事業内容	砂防堰堤工	
	今回評価時点	新規評価時点
総事業費	1.2億円	1.2億円
内用地補償費	0.2億円	0.2億円
完成予定年度	平成33年度	平成23年度
進捗率	33%	
[内用地補償費]	[100%]	
残事業費	0.8億円	

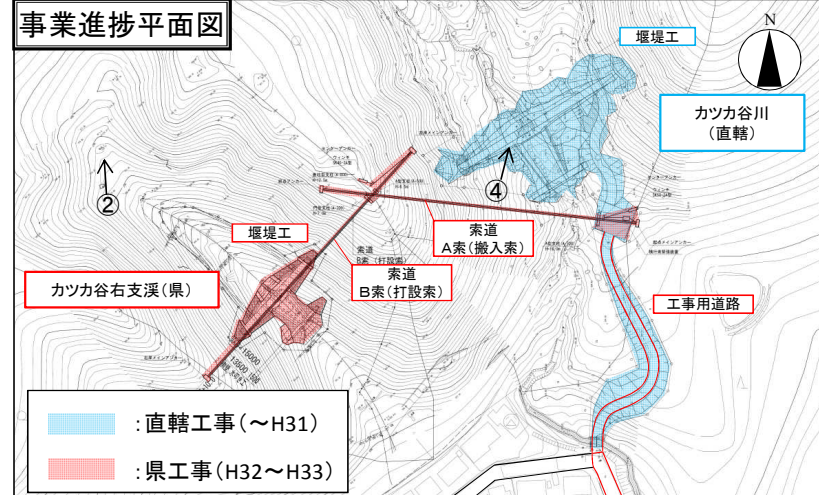
新規評価年度	平成20年度
事業採択年度	平成21年度
着工年度	平成21年度
再評価年度	平成30年度

再評価の結果  
継続

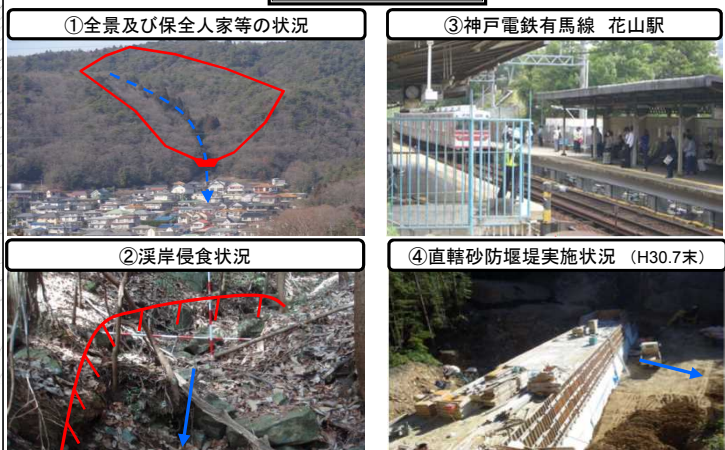


スケジュール

工種	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
測量・設計	[Red bar from H21 to H24] (境界確定含む)												
用地取得	[Red bar from H22 to H28]												
直轄事業	[Red bar from H29 to H32] (本工事)												
本工事	[Red bar from H29 to H32] (本工事)												



現況写真



進捗状況

	事業進捗状況・予定	整備効果
全体 (H21～33)	【事業費＝1.2億円】 堰堤工 1基 用地取得面積：約2,140㎡	砂防堰堤の整備により、人家122戸や神戸電鉄を土石流から保全する。
事業採択～再評価まで (H21～30)	【事業費＝0.4億円】 ①事業進捗率 33% ②用地進捗率 100%	
今後3年間予定 (H31～33)	【事業費＝0.8億円】 H32 本工事着手 H33 工事完了	砂防堰堤の完成により、人家等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。

経緯・必要性

事業実施の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 近年の降雨により溪岸の侵食が進み、転石も多数存在しているなど、流域の荒廃が進行している。</li> <li>② 溪岸の堆積土砂は比較的厚く堆積し、谷出口に住宅地が近接するなど、土砂災害の危険性が高い。</li> </ul>
事業を取り巻く社会経済情勢等の変化	<p>【新規評価時点からの変更概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業着手後、堰堤予定地の隣接地が多数の地番に細分化された山林分譲地であることが判明し、境界確定に長期間を要した。</li> <li>② 平成22年度に計画地周辺が直轄区域に編入されたことに伴い、平成23年度から六甲砂防事務所が隣接するカツカ谷川の堰堤工事に事業着手することになった。</li> <li>③ 平成28年度に県事業の用地買収を完了したが、その時点においては既に六甲砂防事務所は堰堤工事に着手していた。</li> <li>④ 工事用車両の輻輳を避けるため、六甲砂防事務所の工事完了後に県が着手することで地元と合意。</li> <li>⑤ 平成31年度に六甲砂防事務所の工事が完了する目処が立ったことから、平成32年度に県が工事着手し、平成33年度に完了予定。</li> </ul>
継続実施の理由	事業の必要性は事業採択時と変わっておらず、必要な用地の買収はすべて完了している。地域住民の安全安心な生活環境を確保するため、事業を継続する必要がある。

出典:国土地理院ウェブサイト  
承認番号 平28情保、第352号